

栃木県

ベンチ（16基）

【概要・アピールポイント】

- ・次世代の林業を支える若手現場技能者が伐採したSGEC森林認証材を選手村ビレッジプラザで活用。
- ・東京2020大会のレガシーを広く一般県民に利用していただくことを目的として、ベンチを製作。
- ・レガシー材を活用したベンチであることを示す解説板を設置し、木材利用に対する関心を喚起。

■ 資材提供のきっかけ

栃木県では、東京2020大会の機運醸成を図るとともに、品質と供給力に優れた本県の木材を広くPRするため、県民共有の財産である県有林（森林認証材）の木材を提供することとした。

■ 提供した木材の概要

スギ無垢材（柱材）

■ 用途

ベンチ（16基）

■ 用途決定までのプロセス

- ・返却された木材の状態を踏まえ、なるべく複雑な加工を施さずに製作可能な木製品を選択。
- ・大会レガシーを身近に感じるとともに、広く一般県民の憩いの場となるよう「ベンチ」を製作することとした。

■ 完成/使用開始時期

2023年6月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ・栃木県庁本庁舎、栃木県林業センターのほか、2024年4月開校予定の「栃木県林業大学校」に設置。

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・レガシーの次世代への継承というストーリーを体現するため、次世代の本県林業を担う若手の現場技能者が中心となり、立木の伐採作業を実施。
- ・東京2020大会で活用された木材から製作した「ベンチ」を次世代の林業者育成の場となる「栃木県林業大学校」に設置することで、将来、受講生らが林業に従事したときに、自ら伐採した木材が様々な分野で活用されることへの意識付けを期待。



問合せ先

環境森林部 林業木材産業課 木材産業担当

電話：028-623-3276